

「地域を守る」気持ちも新たに 3/1

町消防団第1分団1部(接岨区)へ新しい車両が配備されました



鈴木町長や諸田環団長も、団員とともに車両の機能を確認した

町から町消防団への小型ポンプ積載車貸与式が役場本庁前駐車場にて行われ、鈴木町長をはじめ消防団員など約20人が参加しました。

貸与された車両には、小型消防ポンプのほか、さまざまな消防資機材や救助工具セットなどが装備されています。式典で鈴木町長は「何よりも火災が発生しないことが第一。まずは住民への呼び掛けや巡回など、火災の予防活動に活用してほしい」と団員にあいさつしました。中村剛分団長は「新たな車両を有効に使い、地域の安全を守っていききたい」と決意を新たに話しました。

3/3 彩り豊かな水源地を願って

大井川流域住民に水資源の大切さを再認識してもらう「植栽イベント」を開催

大井川流域7市2町(島田市、焼津市、掛川市、藤枝市、御前崎市、菊川市、牧之原市、吉田町、川根本町)で組織する「大井川長島ダム流域連携協議会」は、長島ダムの法面への植栽イベントを開催し、流域住民約150人が参加しました。

南アルプスあぶとラインに乗って長島ダムに到着した参加者は、シランやフッキソウなど約6,500株を1時間かけて植栽しました。また植栽終了後は、鈴木町長や各市町からの参加者代表などがミツバツツジとヤマハギ20本を植樹し、流域が花や緑に彩られることを願いました。



長島ダムを背にして斜面に沿って並び、手際よく植栽した

藤枝MYFCを応援しよう!



左から大橋教育長、鈴木町長、杉本選手、鎌田代表取締役、大石監督
第6節 4月8日(日) 午後1時 対 ガイナーレ鳥取
第9節 5月3日(木) 午後1時 対 アスルクラロ沼津
(会場: 藤枝総合運動公園サッカー場)

2月28日、サッカーJ3リーグ(3部)藤枝MYFCの鎌田昌治代表取締役、大石篤人監督、杉本拓也選手が役場本庁を訪れ、鈴木町長と大橋教育長に2018年シーズンの飛躍を誓いました。

鎌田代表取締役は「開幕に向けて良い準備ができている」とチーム状況を紹介しますと、鈴木町長は「ホームタウンとして注目していきたい」と激励しました。また吉田町出身の杉本選手は「母方の実家が川根本町内で、幼い頃に訪れた懐かしい記憶がある」と話し、出席者は町内の観光名所の話題で盛り上がりしました。

唯一無二の「SL三重奏」 3/10・3/11

「SLフェスタ」今年も多くの鉄道ファンでにぎわう



運行ダイヤの合間の時間を活用し、15分間の共演を見せたSL

大井川鉄道千頭駅周辺にて毎年恒例の「SLフェスタ」が開催され、多くの鉄道ファンや家族連れが来場しました。

3両のSLが駅のホームに並んだ「SL大集合」では、その姿をカメラに収めようとする鉄道ファンで大いににぎわいました。3両が一斉に汽笛を鳴らすと、迫力満点に早春の山あいには響き渡りました。ほかにも、鉄道にちなんだアトラクションや大道芸人のパフォーマンス、赤石太鼓の披露、特産品の販売などさまざまな催しが行われ、訪れた観光客を楽しませました。

3/10 開通前に「ひとあし早く」見学

青部トンネルの供用開始を前に、町民向けの内覧会を開催

県島田土木事務所は、3月20日開通の「青部トンネル」にて町民向け内覧会を開催しました。

見学会には250を超える町民が参加し、トンネル内部にて土木事務所職員や工事関係者から工法や構造について説明を受けました。

また、藤川区側のトンネル坑口付近に設置されたパネルが披露されたほか、内覧会の最後には餅まきも行われました。参加者は、いよいよ間近に迫った青部バイパスの全区間開通への期待を、さらに高めた様子でした。



- ▲開通後は通行できない車道を歩きながら、トンネルの大きさや構造を確かめた。
- ◀実際にパネルに絵を描いた子どもたちが除幕すると、参加者からは大きな歓声が上がった。
- ▼工事協力への感謝の思いや全区間開通の喜びを込めて、工事関係者や地元区長らが餅をまいた。

